

# 勝利の口火を日立台で 頂点へつなぐラストスパート

©J.LEAGUE

VOL.  
503

2025  
MELJI YASUDA  
J.LEAGUE SEC.33  
2025.10.04 SAT

VS 横浜F・マリノス



**今** 節は、1カ月前にYBCルヴァンカップで対戦したばかりの横浜F・マリノスとの対戦となる。ただ、直近4試合は連続ドローと足踏みが続くレイソルにとっては、リーグ戦の残り6試合は一つも落とせない状況にある。リーグ優勝のためには全ての試合に勝たなければいけない。それを踏まえて小泉佳穂は「カップ戦と状況は同じ」と、この試合を位置付けている。

状況が変わるとすれば、それはF・マリノスの方だろう。残留を目指す彼らも勝点3が欲しい

状況だが、残留争いの渦中にいた昨年のレイソルがそうだったように、試合展開によっては勝点1を積み上げることにシフトチェンジし、戦い方をガラリと変えてくる可能性も考えられる。相手の出方が読めないゆえに、古賀太陽も「どう守ってくるのか、どう攻めてくるのか。残留が懸かっているということで、よりパワーを発揮してくることも想像できるし、予測しづらい部分がある」と話しているが、だからこそ「冷静に相手をしっかりと見ながらプレーすることが求められる」

と今節のポイントを説く。

また、レイソルが意識しなければならないのは、前節の川崎フロンターレ戦で喫したミス絡みの失点部分を改善し、自分たちが巧みに試合をコントロールできるかだ。ジエゴの右サイド起用や、最後に追いついたことなど収穫も見られたからこそ、課題を克服すれば必ず勝利は見えてくる。直近4試合で得た勝点4を活かすのも今後次第。ホーム日立台で勝って、シーズンラストスパートへ向けて勝利の口火を切る。

クラブ応援プランで、  
レイソルの強化に協力しよう！



加入はこちらから  
<https://prf.hn/click/camref:1101l39gT>



J1、J2、J3全リーグ戦を、DAZNが配信。

DAZN.COM

柏レイソルカードコレクション



2025 明治安田 J1リーグ 第33節

## 柏レイソル VS 横浜F・マリノス



【監督】リカルド ロドリゲス

1	GK	猿田 遥己	HC
2	DF	三丸 拓	
3	DF	ジェゴ	
4	DF	古賀 太陽	HC
5	DF	田中 隼人	HC
6	MF	山田 雄士	HC
8	MF	小泉 佳穂	
9	FW	細谷 真大	HC
11	MF	渡井 理己	
13	DF	犬飼 智也	
14	MF	小屋松 知哉	
15	FW	小見 洋太	
16	DF	片山 瑛一	
17	MF	手塚 康平	HC
18	FW	垣田 裕輝	
19	MF	仲間 隼斗	HC
20	MF	瀬川 祐輔	
21	MF	小西 雄大	
22	DF	野田 裕喜	
23	MF	長南 開史(2種)	
24	MF	久保 藤次郎	
25	GK	小島 亨介	
26	DF	杉岡 大輝	
27	MF	熊坂 光希	HC
28	MF	戸嶋 祥郎	
29	GK	永井 堅梧	
30	MF	加茂 結斗(2種)	
31	DF	成瀬 端平	
32	DF	山之内 佑成	
36	FW	古澤 ナベル慈宇	
37	MF	中島 舜	HC
38	MF	島野 怜	
39	MF	中川 敦瑛	
40	MF	原川 力	
41	GK	坂田 大樹	
42	DF	原田 宜	
44	DF	乗田 大誠	
46	GK	松本 健太	HC
48	MF	熊澤 和希	
88	DF	馬場 晴也	

STAFF  
 ヘッドコーチ/栗澤 優一  
 コーチ/大谷 秀和、染谷 悠太  
 GKコーチ/井上 敬太  
 フィジカルコーチ/松原 直哉

2025.10.04 SAT / 三協フロンティア柏スタジアム  
17:33 KICK OFF

## 予想スターティングメンバー



## STOP! The Key Player

横浜F・マリノス  
48 FW 谷村 海那

昨季、いわきFCで18得点を記録したストライカーは、今年7月に横浜F・マリノスへ移籍。移籍後初出場の第24節名古屋グランパス戦では、J1デビューで先制点を挙げる活躍を見せた。前節のFC東京戦では2得点を決めているが、前半にオフサイドで取り消しになった得点を含めれば、ゴールネットを三度揺らした。テクニックがあり、フィジカルも強い。好調の相手ストライカーを抑えることで、レイソルの勝率は確実に高まる。



©J.LEAGUE

## KASHIWA REYSOL 2025 GAME SCHEDULE

## 明治安田J1リーグ

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
1	2月15日(土)	14:00	ペスカ	アビスパ福岡	○1-0
2	2月22日(土)	14:00	三協F柏	川崎フロンターレ	△1-1
3	2月26日(水)	19:00	三協F柏	セレッソ大阪	○2-1
4	3月2日(日)	15:00	埼玉	浦和レッズ	○2-0
5	3月8日(土)	16:00	三協F柏	鹿島アントラーズ	●1-3
6	3月16日(日)	14:00	Eビース	サンフレッチェ広島	△1-1
7	3月29日(土)	14:00	三協F柏	東京ヴェルディ	△0-0
8	4月2日(水)	19:00	サンガS	京都サンガF.C.	△1-1
9	4月6日(日)	15:00	三協F柏	ガンバ大阪	○1-0
10	4月11日(金)	19:00	国立	FC東京	△1-1
11	4月20日(日)	15:00	レモンS	湘南ベルマーレ	○1-0
12	4月26日(土)	14:00	三協F柏	アルビレックス新潟	△1-1
13	4月29日(火・祝)	14:00	豊田	名古屋グランパス	○2-1
14	5月14日(水)	19:00	日産	横浜F・マリノス	○2-0
15	5月6日(火・休)	16:00	三協F柏	清水エスパルス	○1-0
16	5月10日(土)	16:00	三協F柏	ファジアーノ岡山	○2-0
17	5月17日(土)	14:00	Gスタ	FC町田ゼルビア	●0-3
18	5月25日(日)	14:00	ニッパツ	横浜FC	△1-1
19	5月31日(土)	16:00	三協F柏	ヴィッセル神戸	●1-3

※今後、変更になる可能性があります。追加情報につきましては随時発表いたします。

2025 Jリーグ YBC ルヴァンカップ	プライムラウンド
第1戦 10月8日(水) 19:00 U等々力	川崎フロンターレ
第2戦 10月12日(日) 16:00 三協F柏	川崎フロンターレ

[決勝] 11月1日(土) 13:05 国立競技場

天皇杯JFA第105回全日本サッカー選手権大会
第1戦 10月8日(水) 19:00 U等々力

第2戦 10月11日(水) 19:00 三協F柏

東洋大学

## J.LEAGUE DIVISION 1 順位表

順位	チーム	勝点	試合	勝	引	敗	得失点差
1	鹿島	64	32	20	4	8	24
2	神戸	60	32	18	6	8	16
3	京都	59	32	17	8	7	22
4	柏	57	32	15	12	5	14
5	町田	55	32	16	7	9	15
6	広島	55	32	16	7	9	15
7	川崎	52	32	14	10	8	15
8	浦和	49	32	13	10	9	7
9	G大阪	49	32	15	4	13	-1
10	C大阪	43	32	11	10	11	2
11	清水	40	32	10	10	12	-4
12	岡山	40	32	11	7	14	-6
13	FC東京	40	32	11	7	14	-10
14	福岡	37	32	9	10	13	-6
15	名古屋	36	32	9	9	14	-9
16	東京V	36	32	9	9	14	-15
17	横浜FM	31	32	8	7	17	-11
18	横浜FC	31	32	8	7	17	-15
19	湘南	25	32	6	7	19	-28
20	新潟	21	32	4	9	19	-25

2025年9月28日現在

# MATCH ANALYSIS

※掲載されているデータはリーグ戦のものです

9月29日時点のデータ

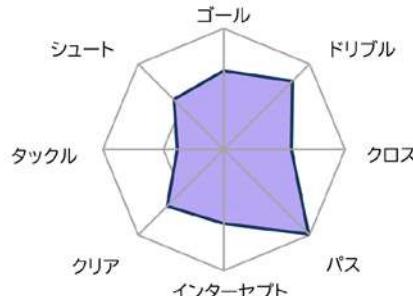


## 柏レイソル VS 横浜F・マリノス

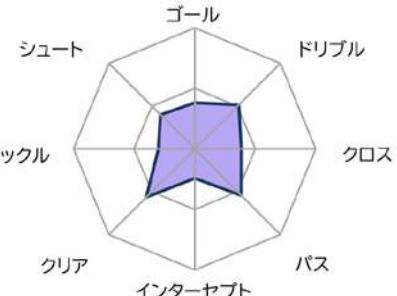
提供:データスタジアム

10月4日 三協フロンティア柏スタジアム

### チームスタッツ

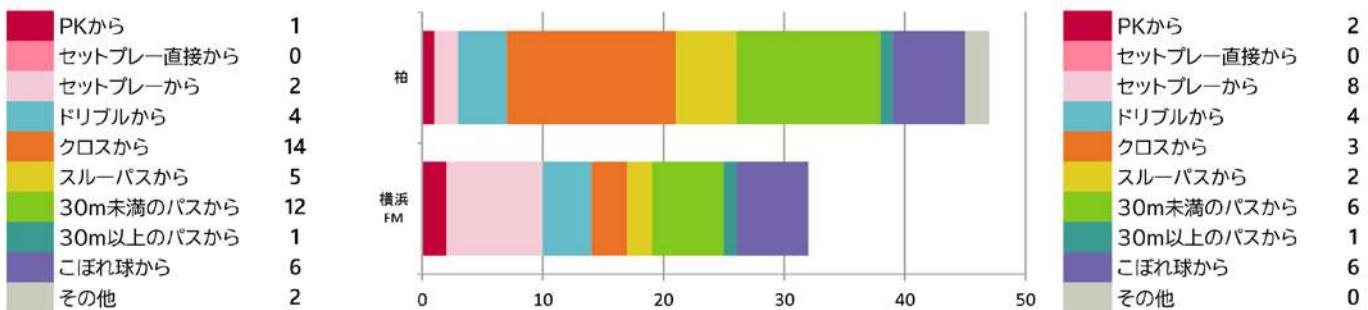


Goal	1.0 (14)
Dribble	10.6 (10)
Cross	13.0 (15)
Pass	459.2 (9)
Interception	1.3 (17)
Clear	23.6 (7)
Tackle	15.5 (16)
Shoot	8.9 (15)



※試合平均値。()内はリーグ順位

### 得点パターン



### ランキング

ゴール		
久保 藤次郎	7	
細谷 真大	7	
垣田 裕暉	6	
小泉 佳穂	5	
ジエゴ	3	
他3名		

アシスト		
小屋松 知哉	9	
久保 藤次郎	4	
垣田 裕暉	4	
小泉 佳穂	3	
ジエゴ	2	
他4名		

ゴール		
遠野 大弥	5	
ヤン マテウス	5	
植中 朝日	4	
谷村 海那	4	
角田 涼太朗	2	
他4名		

アシスト		
ジョルディ クルーケス	3	
植中 朝日	3	
ヤン マテウス	3	
永戸 勝也	2	
井上 健太	2	
他1名		

セットプレー (出し手→相手ペナルティエリアでの受け手)		
山田 雄士	→ 渡井 理己	2
原川 力	→ 小屋松 知哉	2
原川 力	→ 熊坂 光希	1
原川 力	→ 木下 康介	1
原川 力	→ 小泉 佳穂	1
他18ペア		

セットプレー (出し手→相手ペナルティエリアでの受け手)		
松原 健	→ 植中 朝日	5
ジョルディ クルーケス	→ 角田 涼太朗	3
天野 純	→ 加藤 蓮	3
天野 純	→ 谷村 海那	3
ヤン マテウス	→ 諏訪間 幸成	3

### ホットゾーン



※セットプレー除く



# 8 MF 小泉佳穂

YOSHIO KOIZUMI

勝利のためにはもっと賢く

focus

—前節の川崎フロンターレ戦を振り返っていただけですか?

「残りは6試合とYBCルヴァンカップですが、そこに向けて希望が見えた試合でもあり、勝点を落としたことが重くのしかかる試合だったと思います」

「どう、う点に希望が見えましたか?」「一番はジエゴの右ウイニングです。チームとしてハマり、大きな武器になることが分かりました。カットインができるウイニングが両サイドにいてくれるとバリエーションが増えるので、そういう意味では大きかったです」

「得点シーンの左足シュートだけではなく、中川選手の得点はジエゴ選手の縦突破と右足のクロスが起点になりました。左足だけじゃないところも見せていました。

「ジエゴの右サイドは練習でもやったことがなかつたので、あいのシーンは僕らも初めて見ました。あとはセットプレーでも、ジエゴがいることで高さが出るのは助かりますね」

「収穫もあつたからこそ悔やまれるのがミス絡みの失点でした。失点に関してはリカルド監督も『相手にプレゼントしてしまった』と振り返っていました。

「明確に原因としてあるのが疲労です。もう少しひームをマネジメントできればとは思いますが、フロントアレ戦は単純なゲームコントロールは悪くなかったです。でもルヴァンカップの横浜F・マリノス戦やヴィッセル神戸戦、セレッソ大阪戦はゲームコントロールができなかったので、そこで消耗したことがあり影響している気がします。それが原因で、本来は起きない技術的なミスや判断ミスがあったというの

が一つ。あとはゲームコントロールやゲーム運びの部分で、時間や点差を意識してプレー選択できないと勝てる試合を落としてしまう。特に先制した

セレッソ戦や、フロントアレ戦の2失点目のシーンは、そういうところが出てしまったと思います。点を取るにいくのは大切ですが、攻めつつもリスク管理はもう少しできなければいけない。一つのプレーがどう

いうよりは、チームとして枚数のかけ方やバランスを取ることは、もう少しできなければといけないと思います」

——中期スパンで見れば今チームは成長過程にあります。ただ、今季は優勝を狙える位置にいるので、成長しながら勝つという難しいミッションに挑戦しています。

「ある程度今はチーム作りの段階で、この後にチームを作り直す必要があります。前回はカップ戦でしたが、リーグ戦はもう残り6試合しかないから状況は同じです。優勝のためには全部勝たなければいけないから、リスクを負わなければいけない状況が出てきたり、リードしているんだったら勝負に徹して塩試合していくことも大事だと思う。今までやってきたことは少し矛盾しますが、それができないと本当にタイトルには届かないと思うので、それができるか。それをやりながら、さつき言ったようにチャレンジ精神を忘れずに、リスクを負うこと楽しむ気持ちを持てないといけない。良いサッカーだけでも勝てないので、そのバランスですね。それは残りの6試合とルヴァンカップ、全ての試合で大事になってくると思います」

ムを最高潮に持っていく、今はその途中という見方もできますが、そちらに行くにはあまりにももつたいない。今年はリーグ優勝もルヴァンカップのタイトルも目の前にあります。他チームの状況を見ても、以前のフロンターレやF・マリノスのように抜けたチークがないので、勢力的にも今年はチャンスなんです。どちらかといふと前の前の試合に勝ちにくいう方に振っていると思いますが、それにしては試合運びが拙い。僕たちのサッカーはチャレンジする回数が多い分、ミスが多くなるリスクを伴います。ミスに対して恐怖心を持つと判断が鈍るし選択肢も狹まるから、こういうサッカーは難しいですが、メンタル的にチャレンジ精神を常に持つてた方が良いプレーができる。そういうサッカーをしています。が、ちょっとイケイケになりすぎているというか…。勝利のためにももっと賢く、いやらしいことができるようにならなければいけないと思います」

——ベースとなる今のスタイルを貫きながら、勝負どころでは勝利に徹するプレーを選択する。リカルド監督も日頃から「攻守においてバフェクトなチームを目指す」と言っていますが、今の小泉選手の話を聞いてもレイソルが目指す理想像はとても高いと感じます。

「今年のチームは本当に良い選手が揃っています。『その選手がいれば勝つてしまう』というような、圧倒的な個の力に頼るチームではありませんが、そういう選手がいたらこのサッカーはできない。だからこそチームとしての完成度を細かいところまで突き詰めないと、優勝する確率は高められないと思います」

——今節は1カ月前に対戦したばかりのF・マリノスとリーグ戦での対戦になります。

「前回はカップ戦でしたが、リーグ戦はもう残り6試合しかないから状況は同じです。優勝のためには全部勝たなければいけないから、リスクを負わなければいけない状況が出てきたり、リードしているんだったら勝負に徹して塩試合していくことも大事だと思う。今までやってきたことは少し矛盾しますが、それができないと本当にタイトルには届かないと思うので、それができるか。それをやりながら、さつき言ったようにチャレンジ精神を忘れずに、リスクを負うこと楽しむ気持ちを持てないといけない。良いサッカーだけでも勝てないので、そのバランスですね。それは残りの6試合とルヴァンカップ、全ての試合で大事になってくると思います」





# TAKE THE HITACHIDAI FOOD TRIP!!



## ホスピタリティ BOX

割りばし、フォーク  
スプーン、おしづり  
ヘアゴムなど  
ご利用ください



## 出店なし



駐輪場 (14:00~19:00)

# REYSOL REPORT

## ミドルシュートがもたらす相乗効果

文=鈴木潤 Jun SUZUKI

レイソルを中心に国内ユース年代から海外サッカーなどを取材。日々の取材を発信するHP「柏フットボールジャーナル」も運営。

**前** 節の川崎フロンターレ戦は4-4の引き分けに終わった。優勝争いという点では、勝ちきれなかったことは痛手ではあったものの、収穫がなかったわけではない。その収穫の一つが、フロンターレから奪った4得点のうち、3点をミドルシュートで決めたことである。

今季のレイソルは複数の選手が関わり、相手の守備陣形を鮮やかに切り崩して奪う得点が多い。ボールを保持し、相手を敵陣に押し込む時間帯も長いからこそ、対戦相手はペナルティエリア内に人数をかけてスペースを消し、レイソルのゴール前への侵入を防ごうとする。そんな相手のディフェンス陣を引き出すのに有効なのがミドルシュートだったが、これまでのレイソルは外から狙うシーンがほとんどなかった。

だが先述のとおり、フロンターレ戦では、ジエゴ、中川敦瑛、三丸拓がミドルシュートを決めた。

フロンターレ戦で「人生初の右サイド」を務めたジエゴは、試合前にリカルド・ロドリゲス監督から「積極的にシュートを打ってほしい」と言わ

れていた。監督の要求どおり、ジエゴは39分に杉岡大暉からパスを受けると左足を振り抜き、低い弾道のシュートでGKの手元を射抜いた。

フロンターレ戦のハーフタイム。リカルド・ロドリゲス監督は、前半に中川がシュートチャンスで狙わなかったことを受けて「完璧な崩しだけを狙うのではなく、打てるタイミングがあれば、どの角度からでも積極的に打っていこう」と、チーム全体に指示を出していた。そうした意識づけもあつたのだろう。2-3で迎えた66分、ジエゴの縦突破と右足クロス、それを受けた小屋松知哉の丁寧な落としから、走り込んだ中川が豪快な一撃を突き刺した。

そして90分。3-4とフロンターレが1点リードの状況で、三丸の左足一閃の素晴らしいゴールが決まる。

「あのシーンは、相手のサイドハーフが僕のところに出てこなかった。その前のシーンもそういうところがあったので、チャンスになるとは思っていました。積極的に狙っていった結果です」(三丸)

リーグ戦は残り6試合。今節の横浜F・マリノスを含めて、レイソルは残留争いをしているチームとの対戦が残されている。昨年のレイソルがそうだったように、残留のために手堅く戦ってでも勝点をもぎ取ろうとしてくることが予想される。

そんな展開を予想して、古賀太陽

は今後の対戦におけるミドルシュートの効果を話す。

「ミドルシュートはポイントになると思います。残留争いをしている相手は後ろに人数をかけてくることも考えられますし、全員が帰陣してブロックを作ってくることもあると思う。その時にペナルティエリア外からシュートを狙うことで、相手に『エリア外でもフリーでボールを持たせてはいけない』という意識を持たせたい」

ペナルティエリアの外でもフリーで持たせてはいけない。その意識を植え付けることで相手はシュートを打たせまいと前に出てくる。重要なのは、それが生む相乗効果だ。

「ミドルシュートが入ることによって、相手の我々への対策は難易度が高まり、それによって我々はゴールに近づいたところでチャンスを作ることがより容易になるだろう」(リカルド・ロドリゲス監督)

指揮官は「日々レイソルは進化している」とも話している。シーズン終盤戦を迎える、レイソルにはミドルシュートという新たな武器が備わりつつある。



10/12 YLC 川崎戦・10/25 横浜FC戦ホームゲームチケットは  
好評販売中！チケットは「ローソンチケット」で！

チケットのご購入  
はお近くのローソン・ミニストップ店  
内Loppiで！



### WE SUPPORT KASHIWA REYSOL 2025

#### ◎ユニフォームスポンサー

HITACHI 三協フロンティア Aflac 日立システムズ ENEOS LAWSON 日立ハイテク MITSUBISHI MOTOR MEIJER こうじ種種会 Hibrid-Turf サンアドバンス

#### ◎サプライヤー

YONEX Coca-Cola ORDER SIGHT SADA SEPTIMITE Dmedical TEMPUR

#### ◎クラブスポンサー

・ 勝利サイン	BBMアスレチック	BBMアスレチック	Hitachi Energy	三井住友海上	NISSHO 井筒製作	HUGO 三井UFJ銀行	日鉄リヨネン	三井住友キャピタル	・ 三井不動産	明治安田	千葉銀行
・ とよしき不動産	LOGISTEED	MIKIMOTOセイリッシュ	野村證券	大林組	大成建設	鹿島溶接	住友不動産	西鉄銀行	玲東	タマボル	NUOH 関東建築
・ TAKENAKA	スモーフードサービス	WING	・ フコク生命	ICEBERG	丸紅	ナシム	新潟通商工業	三井UFJ信託銀行	三井地所グループ	市進	日立保険サービス
・ NEXCO東日本	OKAMURA	GrandHouse	かわらの里	WACO HOLDINGS	日本共業	ITS株式会社	CSSL	日立産機システム	セレモ	POINT	REVAL
J:COM	慶應大学	モービル 柏	co-op deli	花谷建設	SEVEN PARK	SKLIMO	エム・シイ	日立建設計算	萬代	名戸ヶ谷病院	
SEPT	BBM商品オンラインストア	柏ラサホテル	ロイヤル・エクスプレス	AMON MALL	AMC	JP	国際電気	MEGALOS			
ZOEL	Tosca	アスカ	ナビゲーション	Sodick	MEGA						

#### 柏レイソルパートナー KASHIWA REYSOL PARTNER

柏レイソルでは「地域」と「応援」をキーワードに、クラブの活動理念にご賛同いただいた法人企業様を対象とするクラブスポンサー制度「柏レイソルパートナー」を設け、多くの企業様にご協賛いただいております。皆様の温かいご支援のもと、地域と一体となったクラブを目指してまいります。

日立産機システム

ローソンエンタテインメント

笠山工業

FCアクティバ

菊池社会保険労務士事務所

てらだデンタルクリニック

エイユーロジテム

秋田運輸

カナリニヨットボールクラブ

風早レクトFC

こかね整骨院

創作料理 銀の趣

オフィス神山

上野商事

助川工務店

柏二番街商店会

コナンテック

トイード専門ブリーダーのブードライフ

Courage

オートエンバス

ダスキンベリエール

柏駅前通り商店街振興組合

こまいぬブルワー 柏ビール

南洲興業

グーロクリエイト

柏プラネット

多摩川電気

柏エフートットボールクラブ

桜田建設

ニコニコ賃貸 柏店

常陽商事

柏流通

デジタルモーメント

柏商工会議所

サンアドバンス

ヒガキオートサービス

野田小型運送

京橋アートレジデンス

トキタ工務店

柏マイティーフットボールクラブ

芝園開発

ポックスクワッド

日立建設設計

テガサイエンス

塗師防

柏ラッセルFC

司法書士法人ふらっと

ハ木歯科医院

フルハシ商事

土井司法書士・行政書士事務所

流通サービス

柏レイソルA.A.TOR'82

新柏倉庫

ヤノハウスコート

Rina Transport

なつの製作所

豊栄

柏レイソルA.A.流山

スパークル

山猫屋珈琲店

ヴィズ歯科クリニック

吉野保育園

ミツワ堂

柏レイソルA.A.野田

SEPT

セントラル

コスマスバス

ウヤマ産業

ユニホームサービス

木村ガラス

セントラル

相鉄フレッサイン千葉柏

Turtles

アスタネット

ヴィスピオ柏99フットボールクラブ

金子製作所